



法面部での作業。この姿勢で固定し、車体を動かして作業できる

## 法面除草が可能に

バックホー付属装置「カリアゲ君」

販売・リース予約の受付開始

古垣建設

古垣建設(本社・余市)は、バックホー全機種に対応する草刈り用アタッチメント「カリアゲ君」

の販売・リース予約の受け付けを始めた。自由に角度設定ができるため、法面勾配での除草作業が可能とし、地面の起伏に追従する機構の採用によってブームの複雑な操作が不要になる。刈り幅もこれまでにない2倍を実現した。

ブケット部分が180度旋回するため、斜面に合わせて自由に角度を調節できる。起伏を吸収する仕組みも備えていることから、地面に置いたままブームを固定し、車体を動かして作業できる。

これにより、従来の搭乗式草刈り機では施工が難しく、人力に頼らざるを得なかった急勾配の法面などでの作業も可能となった。道が管理する河

川の築堤管理道路などの除草では、路肩から2倍の刈り幅が多いため、このアタッチメントを使用することで「飛躍的に作業効率を向上する」(同社)。国土交通省の最新技術情報提供システム(NETIS)に登録申請を予定している。

価格は搭乗式草刈り機の3分の2程度となる300万円(税抜き)。標

準のナイフモア刃を採用したことで、損耗しても部品を簡単に調達できる。

開発した桜庭健取締役は「わが社は実際に河川堤防の維持業務を受注していることから、現場のニーズや実際の歩掛かりが細かく分かることが強み。既に全国から引き合いがある」と話している。